

岐阜学習センター（21A）

科目コード	2679264	<p>【授業内容】 この授業では、心理検査（知能検査、質問紙法、投影法）を取り上げ、実際に検査を受ける体験を通して、それらへの理解を深めることを目的としています。可能な限り、検査者／被検査者双方の体験を通して、検査を行うことの意義を学ぶことが中心となります。したがって、部分参加は認められません。原則として8回すべての時間に出席し、すべての実習を体験した上で、各レポートの提出が求められます（原則として、電子メールによる提出を条件とします）。</p> <p>【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理検査概論：検査の種類とその特性 第2回 信頼性・妥当性・倫理・実施上の留意点・カットオフポイント 第3回 実習1：知的機能の理解：ウェクスター式知能検査の一部を実施 第4回 実習1：結果の分析とレポート執筆指導 第5回 実習2：パーソナリティの理解（心理尺度と質問紙法）：自己-貫性尺度（SOC-29）とTEG-3 第6回 実習2：結果の分析とレポート執筆指導 第7回 実習3：パーソナリティの理解（投影法）：描画法を実施 第8回 実習3：結果の分析とレポート執筆指導ならびにグループディスカッション</p> <p>【学生へのメッセージ】 この実習は、被検査者体験（一部は検査者体験）を重視します。特記事項にもあるように、不快になる場合もあるかもしれませんので、履修には十分注意して下さい（役割を拒否する場合は単位は認定できません）。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。心理学概論やパーソナリティ論、心理統計の基礎、心理学実験等はすでに理解しているものとして授業を進めますので、不足分は各自補った上で受講してください。特に、心理学的レポートの書き方は身につけた上で受講してください。また、他の心理学実験関連の面接授業を受講した上で、本実習を受講することが望ましいです。なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 ボールペン、鉛筆、消しゴム、定規、赤ペン、蛍光ペン、レポート用紙。</p> <p>【教科書】授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 実習にあたってはペアとなって実習を行う場合がありますが、ペアの決定は、授業内で行います。また、現在、精神神経科等に通院中の方が受講される場合は、主治医の許可を得て下さい（投薬を受けている方はその内容をうかがう場合があります）。 実習体験は人によって困難ないし不快になる場合もありますが、事前に原則として個人的事情を考慮することはできませんので、無理な受講は避けて下さい。ただし、事前の申し出により必要と判断されれば、学修の趣旨を損ねない範囲で配慮する場合があります。</p>
クラスコード	K	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
科目名	心理検査法基礎実習	
定員	20名	
担当講師	佐渡 忠洋 名古屋市立大学 人間文化研究科准教授	
日程 実施時間	■5月9日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 ■5月10日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55	
授業概要		
実施会場	岐阜学習センター	

開設科目一覧

富山

石川

福井

岐阜

静岡

浜松

愛知

三重